

県下の交通事故 (11月28日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
59年	4,047件	99人	5,253人
60年	4,066件	113人	5,291人
比較	+0.5%	+14.1%	+0.7%



◇第70号◇

発行所

甲府市丸の内一丁目6-1
財団法人山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552) 37-7827



たしかめて、またたしかめてハイ横断

交通事故防止県民運動

12月10日～1月10日

無事故で楽しく明るい新年を

年末年始は、飲酒の機会が多くなるほか、交通が混雑し、あわただしさも加わって交通事故の多発が予想されます。このため県交通安全対策本部・県交通安全推進協議会の主催で、十二月十日から一月十日まで「年末年始の交通事故防止県民運動」が実施されます。最近、県内の交通事故死者が異常に増加し、十月二十一日から一カ月間特別対策が行われました。これ以上死者をたさないために県民総ぐるみで運動に参加し、交通事故防止につとめましょう。

「事故ゼロ」へ家族

みんなで話し合い

運動の重点

- 一 飲酒運転の絶滅
- 二 若年運転者の交通事故防止
- 三 ことごとし高齢者の交通事故防止
- 四 シートベルト・ヘルメットの着用

飲酒運転の絶滅

- 1 飲酒運転の絶対四ない運動の推進
- 2 酒類提供業者の協力による飲酒運転の抑止
- 3 家庭、地域、職場で飲酒運転をしない話し合いの推進

若年運転者の交通事故防止

- 1 若年運転者に対する交通安全教育指導の強化
- 2 事業所の若年者を対象に運転者会等の結成促進
- 3 高校生を対象とする交通安全クラブの結成促進
- 4 家庭、地域、職場で無謀運転をしない話し合いの推進



安全のために

我が国の最近におけるモータリゼーションの進展は著しく、免許人口は既に五千万人を超え、原付自転車を含めた車両保有台数は五千万台にも達し、まさに「車社会」、国民皆免許時代が到来したと言っても過言ではありません。

交通安全雑感

山梨県交通安全協会副会長 高野慶貴



おいても的確に行動することのできる者でなくてはなりません。しかし、これは言うは易く実行するのは非常に難しく、これからの交通安全教育などに待つところも非常に大であります。つまるところ基本的には「人ひとりの心」の問題に帰するのではないかと思います。

ちろん、とりわけ直接ハンドルを握るドライバー自身の質を高めることが重要であります。申すまでもなく質の高いドライバーとは遠法精神に富み、他人に対する温かい思いや人に対する安全に必要な情報の収集力と、これに基づく判断力に優れ、いかなる交通場面に

よく「山梨ルール」といふ言葉に代表されるように本県の交通マナーは決して良好とはいえず、そのことが今日の交通環境にも少なからず影響しているように思えます。幸い来年は、「かじり国体」が開かれ、その中で、これを機にすべてのドライバーが自己の運転

死傷者が激増しており、その多くは頭部等を主損傷部位としております。このよなことから先般行われたシートベルト装着が義務化され、ヘルメット着用義務範囲も拡大されました。私も過去において衝撃時にシートベルトがいかにか効

果的か身をもちて体験したことがありますが、現在のよ様に危険の増大している道路交通においては、それの自己防衛に努めることは当然であり、他人まかせては、いつになっても解決できないものだと思います。自分の身を守るということ、人間本来の姿勢であり、この根本観念を常に忘れてはならないと思っております。

交通安全協会は、会員の真摯なボランティア精神に支えられて、交通安全思想の啓蒙をはじめとする各種の交通安全事業を行なっており、各単位協会の活動は、それぞれ地域にしっかりと根をおろし、住民の間に深く定着しております。安協がこのように今日のくま社会になくはならない存在としての地位を確立するまでには、その長い

歴史のなかで先輩の会員の人の知れぬ苦労が数多くあったことを私達は決して忘れてはなりません。現在においても交通安全協会が、その活動に対する理解が全く無い訳ではありませんが、私共はあくまでも交通安全のみを目的とし、交通事故を防止するための各種交通安全運動、交通安全教育、広報、表彰など幅広い活動を展開しているのであります。会社、事業所など利潤追求とは全く性質を異にし、会員一人ひとりが、高いプライドを持ち活動していることを県民に理解していただきたいと強く希望するものです。

昭和61年 交通安全年間スローガン 最優秀作

- 運転者向け
シートベルト 車社会の身だしなみ
- 歩行者・自転車乗用者向け
「気をつけて」朝の一言 忘れずに
- 子ども向け
とび出しは めいわくいっぱい 事故いっぱい

の推進

- 1 冬休み中の家庭内の交通安全話し合い、学校の交通安全指導の徹底
- 2 ことごとし母親の交通安全教育の徹底
- 3 高齢者 特性に応じた交通安全教育の徹底
- 4 夜間外出自衛 自転車
- 5 地域ぐるみで無謀運転転道放気運の醸成

の推進

- 1 着用効果の広報と正しい着用方法の指導強化
- 2 街頭指導所の開設による指導の徹底
- 3 官公署、事業所等における着用推進
- 4 各種講習交通安全教育
- 5 後部反射・ペダル運動の推進
- 6 自転車模範走行車運動の推進
- 7 シートベルト・ヘルメット着用の推進
- 8 かいじり国体交通安全マナー向上県民運動の推進
- 9 ステッカー「事故ゼロへ家族みんなで話し合い」の毎日確認の励行
- 10 運転者対策の推進
- 11 模範走行車による交通安全マナー向上運動の推進
- 12 地域、職域、学校等での「ゆっくり走ろう山梨県」の啓発活動の推進
- 13 広報普及啓発活動の推進

- 1 重大事故につながる違反の取締り強化
- 2 街頭監視と保護講習活動の強化
- 3 暴走族その他各種違反の取締り強化

「思いやり」のある交通行動と「ゆとり」「ゆずり合い」運転の励行

(2) ルール違反をなくすための声かけ、あいさつ運動の励行

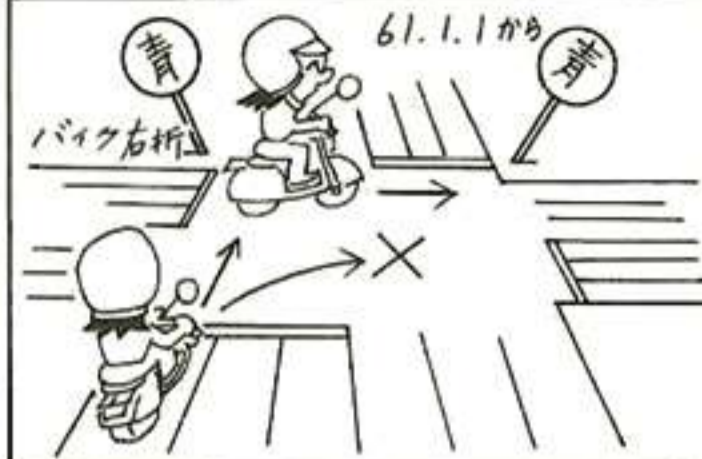
指導取締りの強化

1 重大事故につながる違反の取締り強化

2 街頭監視と保護講習活動の強化

3 暴走族その他各種違反の取締り強化

おんせん家



受賞する優良安協会長

優秀賞は鯉沢安協

111人に交通栄誉章緑十字銅章

交通安全功労者、団体、優良運転者等

四七六人と十九団体表彰

県警察本部と県交通安全協会主催の昭和六十年度交通安全功労者、優良運転者等の表彰式は、十一月十五日、県民会館大ホールにおいて、望月幸明山梨県知事、高村権佐久県議会議長、米田昭甲府地検検事正等多数の来賓臨席のもとに盛大に行われました。

表彰式は、まず全員で交通安全功労者に追悼の黙禱を捧げ、古川定昭県警察本

部長と高野慶典安協副会長があいさつし、続いて表彰が行われました。

富田衛氏に黄綬褒章



富田氏は、昭和二十七年から上野原安協の役員を歴任し、昭和五十六年四月同安協副会長、県安協評議員に就任し、現在県安協監事もつとめ、安協の育成と交通安全に尽力しています。

全国キャラバン隊

県内を安全キャンペーン

第七回全国交通安全母の会連合会・全国キャラバン隊は、みんなですすめる交通安全をテーマとして八月十五日から九月十二日までの二十九日間、全国七コースで交通安全キャンペーンを実施しました。



キャラバン隊を歓迎する竜王町園児

キャラバン隊は、街頭広報活動を続けるとともに、甲府、南甲府、小笠原、日下部の各地で交通安全全パレード、園児と母親、

ため尽力している交通安全老人クラブ、また、それぞれの立場から交通安全のために献身的に努力している方がたなど、多彩な団体や個人の皆さんが賞揚され、また、表彰式に続いて県警音楽隊とカラーガード班が、見事な演奏演技を披露して晴れの受賞を祝福しました。

- 関東管区表彰
 - 交通安全功労者(団体)
 - 石和女性ドライバーの会
 - 交通安全優良事業所
 - 山梨通運株式会社
 - (優良運転者)
 - 小松雅三、萩原義之、浅川幸治、小宮山福三、遠藤昭吉、篠原豊誠、笹本広、堀内述久、近藤敏男
 - 交通安全功労者(個人)
 - 三浦正雄、小西高、小林愛則、山本富雄、佐野金之助、地場登美江、萩原寛、小林芳方、三枝幹男、村松恒彦、田中一水、齊藤玄鶴、秋山幸男、深沢義次、岩波甲一、齊木誠、保坂誠、望月義雄、深沢豊、内野光徳、渡辺喜信、石部元章、齊藤元春、高野知宏、野沢武川徳雄、秋山栄作、金子淳夫、笠井邦茂、野沢孝夫、森島伸治、小林司、天野和知、大森欣也、小林英雄、梶原健一、天野昭秀、井上博、瀧森蔵、杉本喜久治

- 金丸江江、井出幸子
- (優良交通安全管理)
 - 神林米男、渡辺昭次、朝夷保、大森達馬、金澤誠
- (優良運転者)
 - 秋山詮、小林素男、山中淑、清水彦治、渡辺武夫、宮本輝秀、浅川信、保坂通正、村松敏雄、小利利男、角田悦夫、佐野欣也、野田房雄、河西輝雄、河西六市、小沢誠一、須賀正信、清水昭次、海野弘展、中島源雄、喜昭、声沢守男、飯塚延孝、望月敏治、近藤雅俊、小林正作、今村忠徳、丹沢静美、市川啓一、堀内直、小川保仁、山下薫、中村寿仁、平山正昭、堀内幸男、萩原富雄、三橋正男、石川外史子、吉岡元、杉本家康、渡辺智範、志村家康、湯山喜六、渡辺文男、井出恒雄、小川金次、羽田忠一、羽田武信、浅井文男、坂本公雄、小俣平八、山口治男、小山幸、平賀常雄、豊岡清一、駒井喬雄、渡辺三千雄、森本直

- 幸、石井昇、有泉有文
- 優良交通安全協会
 - (優秀賞) 鯉沢
 - (優良賞) 大月、富士吉田、塩山
 - (努力賞) 上野原、日下部、南甲府
 - (創意賞) 韮崎
- 交通安全功労者および団体
 - (交通安全功労者)
 - 寺田喜作、梅原勝子、田中志朗、深沢金治、渡辺銈子、手塚虎一、堀内清治、穴水信子
 - (交通安全功労団体)
 - 甲府市立伊勢小学校PTA交通部、株式会社タイア一三三、甲斐興運、須玉町若宮種子保育園、関山会、都留市立立木第一小学校、富士吉田市商業連合会、大月女性ドライバーの会、上野原町交通安全老人クラブ連合会
 - 交通安全功労役員
 - 鈴木光三、市川武文、宮川隆武、岡田正作、小松正雄、堀口文雄、小沢貞夫、小野恒夫、鶴田忠、樋口辰雄、近藤昭、佐野直以、河口喜久雄、萩原幸雄、佐久四郎、長田正三、志村朋一、小林重治、河住俊樹、大勝留友美、小林九八、井上正男、清水輝男、榎野芳規、市川泰寿、水上建吾、滝田里良、内藤佐一、小松昭吾、山本重成、宮沢喜四郎、天野義久、齊藤彦、入倉秀雄、中込勉、石坂勲彦、上杉文

金賞に四点入賞

交通安全写真コンテスト

県交通安全協会主催、県警察本部、山梨日日新聞社後援の第十九回交通安全写真コンテストは、八月三十一日締め切りました。今回は、一般的に交通安全の場面に撮影したものや交通事故現場を撮影したものなど四十九点が出品されました。

九月三十日審査の結果、最優秀賞は該当がなく、金賞

賞四点、銀賞三点、銅賞四点、佳作七点を決定し、入賞者には賞状、賞金を、佳作入賞者と参加者に賞金、記念品が贈られました。

入賞者は次のとおりです。[金賞] 本間悦子(竜王) 高速道路交通警察隊(昭和) 窪田幸吉、山村芳男(甲府)

[銀賞] 大柴力(韮崎) 大月交通安全隊(大月) 依田虎雄(楡形)

[銅賞] 宮井寛二(都留) 間瀬英幸(鯉沢) 依田虎雄(楡形)

[佳作] 大柴力(韮崎) 依田虎雄(楡形) 望月清(長坂)

[優良運転者] 石川三朗はか二五五名

[優良職員] 中島健治、大森七五郎

用や広報紙(誌)などに活用され、交通安全の啓発に役立っています。また一般への貸し出しもいたしますのでご利用ください。

自動車や原付自転車には必ず任意の自動車損害保険をつけよう。

損害保険代理店

株式会社たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内2丁目32-13
日東ビル4階
TEL 0552-28-0691

第27回山梨県中学生交通安全弁論大会

第二十七回山梨県中学生交通安全弁論大会は、県交通安全協会、NHK甲府放送局、交通山梨新聞社の共催により十月十四日、甲府市飯田三丁目NHK甲府放送局第一スタジオで行われ、大会には、県内各地の子選大会で選ばれた十七人の中学生が出席し、七十分の持ち時間、事故の体験や日常生活を通して交通安全について考えていることを力強く訴えました。弁論発表は、年々レベルが向上し、とくに自らの体験により、今、中学生として何をなすべきか等具体的な意見の発表が目立ちました。審査の結果「心のすみに思いやりのトス」と題して、無謀運転の巻き添えとなった中学先輩の悲惨な交通事故を教訓に、一人ひとりの思いやりを訴えた富士吉田市立明見中三年、加々美広美さんが優勝し、優勝旗と知事賞を受けました。受賞者は次のとおりです。

加々美広美さん(明見)が優勝 代表17人が熱弁ふるう



思いやりのある安全運転を訴える中学生

放送局第一スタジオで行われ、大会には、県内各地の子選大会で選ばれた十七人の中学生が出席し、七十分の持ち時間、事故の体験や日常生活を通して交通安全について考えていることを力強く訴えました。弁論発表は、年々レベルが向上し、とくに自らの体験により、今、中学生として何をなすべきか等具体的な意見の発表が目立ちました。審査の結果「心のすみに思いやりのトス」と題して、無謀運転の巻き添えとなった中学先輩の悲惨な交通事故を教訓に、一人ひとりの思いやりを訴えた富士吉田市立明見中三年、加々美広美さんが優勝し、優勝旗と知事賞を受けました。受賞者は次のとおりです。

〔優秀賞〕以下出場順
天野雅千(玉幡) 金畑茂子(巖) 石川玄(下山) 吉澤宏治(山梨北) 三宅重紀子(敷島) 末木彩枝子(梨大附属) 田中一毅
〔御勅使〕田村洋子(塩山) 清水利江子(平和) 蜂須賀真(西桂) 沼田恵美子(浅川) 小池君枝(白州) 桐戸美紀(久那土)

団体4位に入賞

女性クラス 穴水選手 4位
高校生クラス 矢野選手 5位
一般Bクラス 高野選手 5位

二輪車安全運転全国大会

第十八回二輪車安全運転全国大会は、去る八月十一日の両日、三重県の鈴鹿サーキットで行われました。本県からは、県大会で優秀な成績をあげた女性クラス(五〇cc以下)穴水あけみ(竜王)、高校生クラス(二二五cc以下)矢野徳人(甲府)、一般Aクラス(四〇〇cc以下)三沢哲也(石和)、一般Bクラス(四〇〇ccをこえるもの)高野淳一(甲府)の各選手が出場しました。



波状路走行に挑戦する穴水選手

三二二五点をあげて団体四位になり、昭和五十六年団体優勝、五十八年団体五位に続いて今年も上位入賞を果たすことができました。

安全運転学校(八田村)同都留分校(都留市)および各警察署の免許証更新手続きは、十二月二十九日から一月三日まで休みとなりこの間は更新することはできません。うっかりして休み中に期限が切れてしまった方は、一月四日に必ず更新手続きをして下さい。一月五日になりますと失

効免許となり、車を運転することができません。もし運転しますと、無免許運転で処罰されますので、くれぐれもご注意ください。車はゆとりのある運転が大切です。免許証の更新もゆとりをもっと早めに済ませるよう心掛けて下さい。なお免許証の更新については山梨県警察本部運転免許課に照会して下さい。電話(五五八)〇五三三三(運転免許課)

新規購入 映画の紹介

山梨県交通安全協会では、新しく次の映画を購入しました。無料で貸し出します。ご利用ください。一 暴走の報酬 16ミリ、カラー、28分 二 輪車運転者同 快感のみを追い求め、交通ルールとマナー、そして安全運転の心を欠いたライダーの無謀運転により大きな交通事故をおこし、被害者とその家族として加害者一家の悲劇をおして運転者の社会的責任と命の大切さを訴えるものです。

二年前に、中学を卒業していった先輩が、今年の七月に、交通事故のため亡くなりました。わずか十七年間の命が、一瞬のうちに消え去ってしまったのです。この突然の出来事に、私は驚きました。なぜなら、その前の晩、私は彼女に会っていたのです。近所のストアーのお姉さんと、楽しそうに話している彼女の姿を見たばかりだったので、私にはとても信じられませんでした。昨日見た人が、今日はどう生きていないか、誰だか信じておられないと思います。

運が悪い、という一言でかたづけられる問題ではありませぬ。一台の車が、無理な追い越しをしたために大きな事故につながってしまった。しかも、何の関係もない二台の車が、その無謀な運転や、ルール違反によって引きおこされた犠牲になってしまったので

む車、道路いっばいに広がって、下校する中学生、いっついで事故がおこってもけつしておかしくない状況です。こんな危険な状況をつくりだしている、最大の原因は一体何なのでしょう。

九月十一日の新聞にこんな記事がのっていました。昨年度の、山梨県内の交通事故による死亡者、百三十八人と、昨年同様に七人多い……。

この死亡者の中に、あの先輩も入っているのです。私には今だに彼女が死んでしまったなんて信じられません。また買い物に行けば、いつものようにお姉さんと笑いながら話しているのではないかと思ったりします。

年末年始は年の変わりめであり、何かと忙しい時期です。またこの時期は、運転免許更新窓口も大変混雑いたします。そこで、この時期に免許証の更新期間に入った方は免許証の有効期間の満了する日の一カ月前から更新することが出来ますので、あらかじめ更新する日を予定し、なるべく年内に、しかも早めに済ませるようにし

心のすみに

思いやりのトスを

明見中

加々美 広美



自分では注意していても、いつまきそえになるかわからない、それが交通事故のおそろしさなのです。この事件以後、交通事故に対して、私の受け取り方がはつきり変わりました。今までは、ニュースや新聞

私には思います。一人ひとりの身勝手な判断、自分のことしか考えない社会的風潮ではないかと。パフューマンズ時代の個性尊重の時代、そんなことがいわれていますが、それがこの交通事故に結びついてい

私には思います。一人ひとりの身勝手な判断、自分のことしか考えない社会的風潮ではないかと。パフューマンズ時代の個性尊重の時代、そんなことがいわれていますが、それがこの交通事故に結びついてい

私には思います。一人ひとりの身勝手な判断、自分のことしか考えない社会的風潮ではないかと。パフューマンズ時代の個性尊重の時代、そんなことがいわれていますが、それがこの交通事故に結びついてい

私には思います。一人ひとりの身勝手な判断、自分のことしか考えない社会的風潮ではないかと。パフューマンズ時代の個性尊重の時代、そんなことがいわれていますが、それがこの交通事故に結びついてい

- 県下一の 広いコースで 早い上達を!
- 伝統ある当校で 1日も早く免許証を あなたの手へ

財団法人 山梨県交通安全協会経営 公認 山梨自動車学校

八田村野牛島1828 山梨県運転免許センター内 TEL 05528-5-0752

交通事故ゼロの願いを込めて、昭和六十一年に使用する「交通安全年間スローガン」が決まりました。三部門の最優秀作品（一面掲載）と佳作は、次のとおりです。このスローガンを行動に移し、交通安全運動を大きく前進させたいものです。

佳作（全日本交通安全協会会長賞）

◆運転者向け

車に乗ったら シートベルトが 身だしなみ
「これくらい」 「まさか」がおこす こわい事故
締めて下さい心とベルト 離して下さい車間距離
シートベルト しめる心が 身を守る
安全は ゆとりとマナーと ベルトから
安全へ かわす笑顔の ゆずり合い
かっこいい シートベルトの パパとぼく
あつてならない事故のため 無くてはならない
ヘルメット

わが生命 たくすベルトと ヘルメット
交通事故！ 時なし場所なし 予告なし

◆歩行者・自転車乗用者向け

あなたが手本！ 親の背を見て 子が渡る

昭和61年交通安全
年間スローガン

毎日が「安全デー」です ポクの家
交差点 とまててゆずって たしかめて
握っていますか子供の手 伝わりますか
小さなぬくもり
急いでる 心にともせ 赤信号
横断に マナーが光る よいしつけ
まつ一秒 とまる一歩が 防ご事故
とび出すな 車の切れ目に ひそむ事故
見逃すな 事故がかけれる 慣れた道
点滅の 青のかけ込み 事故のもと

◆ことも向け

かあさんと やくそくしたよ 交通安全
友達が 先に行っても 左右
安全は 信号プラス ぼくらの目
あめの日も かさのしたから こうつうあんぜん
ゆびきりげんまん せつたいしません とびだしは
歩くのは 右だよ青だよ 歩道だよ
安全は 小さな努力の つみかさね
こうさてん みえないきけん みるあんぜん
手をあげて あんしんするな もつーど
あぶないよ しんこうチカチカ きけんしるし

地区だより

～秋の交通安全運動～

秋の全国交通安全運動は、九月二十一日から十日間、シートベルト・ヘルメットの正しい着用の徹底等を重点に行われ、県内においても県交本部、県警察をはじめ各機関、団体が協力して多彩な行事が繰りひろげられました。期間中の交通事故は、発生七九件、死者一人、傷者九八人でいずれも前年に比較して減少し、とくに死者は二八六・七%の減となり、期間前日間の比較でも減少し、ますますの成果となりました。しかしその後死亡事故が増加を続けており、安全意識の向上が望まれます。期間中の活動の一端を写真で紹介いたします。



シートベルト着用を呼びかける（甲府）



高校生モデルドライバーを指定し交通教室を開く（南甲府）



高齢者交通安全クラブ連合会の結成大会を開く（韮崎）



町ぐるみで交通安全を宣言する（長坂）

安協婦人部でハッピーと制帽を調製する（市川）

市川安協（上田誠会長）では、婦人部の活動を充実するためには、まず服装の統一をと、さらに婦人部専用のハッピーを、続いて制帽を調製しました。九月二日市川署会議室で婦人部役員一同が出席して制帽の戴帽式を行い、柳沢署長、上田会長から励しの言葉を受けて、部員一同、心も新たに安全活動の展開を誓いました。

今後の活躍が期待されます。交母連会員が体験装置で認識深める（南甲府）

南甲府交母連（穴水信子会長）では、シートベルト着用が法制化されるにもない八月十八日、県警本部運転免許課内に常設されているシートベルト体験装置を活用して、会員二十五人に実際の衝撃度を体験させて、シートベルトの常時着用の必要を再認識してもらい、「交通安全は家庭から」の徹底を図りました。

二段階右折を研修

二輪車指導員講習会

県二輪車安全運転推進委員会（塩川光男委員長）は、十一月一日、八日の両日、県運転免許センターで「二輪車安全運転指導員講習会」を開催しました。

この講習会は、指導員の資質と指導能力の向上を図るために指導員と準指導員を分けて、県警試験場長の指導により特別指導員を講師に、主として原付車の安

全連転指導要領を重点に講習しました。とくに今回は、道路交通法等の一部改正により来年度一月一日から原付車の特定交差点における二段階右折の実施要領の研修をあわせて実施し、講話と実技指導を行いました。受講者は、真剣に講義に耳を傾け、実技指導の要領を体験するなど終始熱心に受講し、指導員としての自信を深めるこ

とができました。なお、閉講にあたって平素、積極的に原付講習や指導員講習に参加し、安全運転を励行している次の六名が優良指導員として県二推委員長表彰を受けました。（指導員）井上隆（甲府）内田稔（中道）早川力（甲府）（準指導員）安藤一章（大月）森沢茂（敷島）石倉秀子（甲西）



安協婦人部で戴帽式を開く（市川）



衝撃度を体験する交母連会員（南甲府）

ああこの運転者は

作詞 宮野 貢
作曲 一瀬公弘



ああこの運転者は この運転者は
さつき駅前 スナックで
飲んでた運転者 酔った運転者
ああこの運転者は この運転者は
遠い北国 雪の郷里
帰る途上の 旅の運転者
ああこの運転者は この運転者は
ルール・マナーや 命まで
飲んで忘れた 無茶な運転者

歌謡
ああこの運転者は
宮野 貢 作詞
一瀬公弘 作曲